

医療的ケア児等の支援ニーズの把握及びその後の対応について

広島県が実施した令和3年度医療的ケア児の実態調査

調査の目的：医療的ケア児やその御家族の生活実態や支援ニーズを把握し、関係課において支援施策等を検討する。

①調査期間：令和4年1月～3月末

②対象者：市内に住所を有し、小児科系の診療科等に通院し、在宅で医療的ケア（在宅療養指導管理料）を必要とする児

③調査方法：一次調査（人数の把握）
二次調査（調査票の集計）

④回答数：118人（令和4年5月末までの回答数）

実態調査の調査票の意見から定めた支援項目

① 災害時の避難の在り方（避難所・自宅での生活支援）

- ・避難行動要支援者名簿に登録したい。
- ・避難場所で医療機器の電源を確保したい。
- ・避難所が普通の小学校なので、エレベーターや車いす用トイレがないので避難できない。
- ・避難所で他の方と一緒に過ごすことが難しいので、早急に福祉避難所に行かせてほしい。
- ・福祉避難所で家族全員と一緒に過ごせるようスペースを確保してほしい。
- ・医療的ケアに必要な物品を届けてほしい。
- ・医療品や薬がなくなった時、診察や処方なしでも手に入れたい。

② 医療サービスの充実

- ・県内でリハビリと並行して手術療養できるのが、西条の県リハしかない。
- ・訪問診療できる病院を増やしてほしい。
- ・成人になった時、受診できる病院がない。
- ・入院時、保護者等の付き添いを求められるため、働けない。

③ 通学支援

- ・送迎支援（タクシー等を使えるように）してほしい。
- ・スクールバスに看護師の配置がなく、親の付き添いを求められるので利用が難しい。

④ 看護師等の配置

- ・近くの学校で医療的ケアに対応可能な看護師等を配置してほしい。

⑤ 学校生活での支援の充実

- ・給食のミキサー食注入を実施してほしい。
- ・学校にエレベーターがなく、酸素ボンベを背負って階段の上り下りはしんどく、車いすを使いたいが、階段が多く、車いすを置く場所なし、押す人もなしで使用できない。

⑥ 母子通園等の保護者の負担軽減

- ・療育センターの母子通園を緩和してほしい。
- ・サポートファイルを何時間もかけて作成したが、参考にしているのか疑問感じるし、すぐに呼び出しがかかるので、自由がきかない。

⑦ 通園支援

- ・公設・民設問わず、保護者側が看護師を探すという対応をやめてほしい。
- ・近くの保育園に通えるのか分からない。区へ看護師配置の園、医ケア児受入可能な園を問い合わせたが教えてもらえず、保護者が自ら問い合わせ探すしかない。必要な情報を提供してほしい。
- ・近くの保育園で医療的ケアに対応可能な看護師等を配置してほしい。

⑧ 福祉サービス等の充実

- ・デイサービス、児童発達支援、放課後デイで常時看護師を配置して医ケア児に対応可能な事業所を増やしてほしい。

⑨ 福祉用具等の経済的負担軽減

- ・日常生活用具等の福祉用具の耐用年数を短くしてほしい。
- ・日常生活用具等の福祉用具の補助上限を上げてほしい。